

課室名	学 術 文 化 財 課
件名	登録有形文化財（建造物）の登録について
内容	<p>○平成30年3月9日（金）に開催される国の文化審議会（会長 馬淵明子氏）は、新たに196件を登録有形文化財（建造物）とするよう文部科学大臣に答申する予定である。</p> <p>○山梨県内での登録有形文化財（建造物）は次の31件（詳細別紙）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧加茂内科医院診療所兼主屋（南アルプス市） <small>きゅうかもないかいいんしんりょうじょけんしゅおく</small> ・旧加茂内科医院土蔵（南アルプス市） <small>きゅうかもないかいいんどぞう</small> ・旧加茂内科医院表門及び塀（南アルプス市） <small>きゅうかもないかいいんおもてもんおよびへい</small> ・萩原家住宅東店舗兼主屋（甲州市） <small>はぎはらけじゅうたくひがしてんぼけんしゅおく</small> ・萩原家住宅東蔵（甲州市） <small>はぎはらけじゅうたくひがしのくら</small> ・萩原家住宅西店舗（甲州市） <small>はぎはらけじゅうたくにしてんぼ</small> ・萩原家住宅西座敷（甲州市） <small>はぎはらけじゅうたくにしぎしき</small> ・萩原家住宅西蔵（甲州市） <small>はぎはらけじゅうたくにしのか</small> ・原茂ワイン店舗兼主屋（甲州市） <small>はらもわいんてんぼけんしゅおく</small> ・原茂ワイン東蔵・西蔵（甲州市） <small>はらもわいんひがしのくらにしのか</small> ・原茂ワイン奥蔵（甲州市） <small>はらもわいんおくのか</small> ・身延山久遠寺祖師堂及び御供所（身延町） <small>みのぶさんくおんじそしどうおよびごくうじょ</small> ・身延山久遠寺御真骨堂拝殿（身延町） <small>みのぶさんくおんじごしんこつどうはいでん</small> ・身延山久遠寺仏殿納牌堂（身延町） <small>みのぶさんくおんじぶつでんのうはいどう</small> ・身延山久遠寺大客殿（身延町） <small>みのぶさんくおんじだいきやくでん</small> ・身延山久遠寺法喜堂（身延町）<small>みのぶさんくおんじほうきどう</small> ・身延山久遠寺旧書院（身延町）<small>みのぶさんくおんじきゅうしょいん</small> ・身延山久遠寺新書院（身延町）<small>みのぶさんくおんじしんしょいん</small> ・身延山久遠寺大鐘楼（身延町）<small>みのぶさんくおんじだいしやうろう</small> ・身延山久遠寺時鐘楼（身延町）<small>みのぶさんくおんじじしやうろう</small> ・身延山久遠寺甘露門及び門番所（身延町）<small>みのぶさんくおんじかんろもんおよびもんばんじょ</small> ・身延山久遠寺太子堂（身延町）<small>みのぶさんくおんじたいしどう</small> ・身延山久遠寺三門（身延町）<small>みのぶさんくおんじさんもん</small> ・身延山久遠寺本地堂（身延町）<small>みのぶさんくおんじほんじどう</small> ・身延山久遠寺祖廟塔（身延町）<small>みのぶさんくおんじそびやうとう</small> ・身延山久遠寺常唱殿（身延町）<small>みのぶさんくおんじじやうしやうでん</small> ・身延山久遠寺三昧堂（身延町）<small>みのぶさんくおんじさんまいどう</small> ・身延山久遠寺水行堂（身延町）<small>みのぶさんくおんじすいぎやうどう</small> ・身延山久遠寺瑞門（身延町）<small>みのぶさんくおんじずいもん</small> ・身延山久遠寺思親閣仁王門（身延町）<small>みのぶさんくおんじしんかくにおうもん</small>

だいいちかん
・大市館（身延町）

○この結果、官報告示を経て、本県の登録有形文化財（建造物）は、合計131件となる見込みである。

○国の文化審議会が3月9日（金）に開催されるので、報道の解禁は次のとおりをお願いします。

- ・ラジオ、テレビ、インターネット
：3月9日（金）17時以降
- ・新聞
：3月10日（土）朝刊

※文化財登録制度

届出制と指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護制度で、従来の指定制度を補完する制度として平成8年10月に創設された。

建築後50年を経過している建造物で、次の基準のいずれかにあてはまるものが登録有形文化財（建造物）の対象となる。

- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 二 造形の規範となっているもの
- 三 再現することが容易でないもの

問い合わせ先 教育庁学術文化財課 文化財保護担当
電話 055-223-1792（直） 県庁内線 8515

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/gakujutu/bunkazaihogo/houdou.html>

今回答申が行われる山梨県の登録文化財（建造物）

○旧加茂内科医院（南アルプス市小笠原）
診療所兼主屋、土蔵、表門及び塀 3棟

旧富士川街道の小笠原宿にある。内部に診療所の受付や待合室、診察室があり、ガラス窓が多用され、採光等に配慮した工夫が見られる。敷地正面の表門及び塀、敷地背面に建つ土蔵も含め大正時代の地方診療所の様相を伝える建物である。

○萩原家住宅（甲州市勝沼町）
（東店舗兼主屋、東蔵、西店舗、西座敷、西蔵） 5棟

旧甲州街道の勝沼宿にあり、街道沿いに東西に並んで建つ二件の町家からなる建物である。東店舗兼主屋のほか、いわゆる蔵座敷である東蔵・西蔵と西店舗、西座敷が連なり、伝統的な町家建築が良く残り、旧宿場町の景観を形成している。

○原茂ワイン（甲州市勝沼町）
（店舗兼主屋、東蔵・西蔵、奥蔵） 3棟

旧勝沼宿北方の丘陵地にある旧養蚕農家。内部二階がカフェとなっている店舗兼主屋は、急勾配の切妻屋根や越屋根などの養蚕農家の典型的な外観を残す。敷地背面の東蔵・西蔵、敷地正面隅に奥蔵が建ち、伝統的な農家の構成を伝える建物である。

○身延山久遠寺（南巨摩郡身延町身延）
（祖師堂及び御供所、御真骨堂拝殿、仏殿納牌堂、大客殿、法喜堂、旧書院、新書院、大鐘楼、時鐘楼、甘露門及び門番所、太子堂、三門、本地堂、祖廟塔、常唱殿、三昧堂、水行堂、瑞門、思親閣仁王門） 19棟

日蓮聖人が開いた、日蓮宗総本山である身延山久遠寺の中腹に開かれた本坊域を中心に、西山麓の西谷、山頂の奥之院等に分かれて諸堂宇が配置されている。明治八（1875）年の出火により多くの伽藍は焼失したが、その後の法主等の力により現在の伽藍が再建されている。

○大市館（身延町下部） 1棟

下部温泉の中心部、下部川にかかる神泉橋のたもとに建つ木造三階建ての旅館である。玄関に入母屋の車寄せ等近代和風らしい外観を呈する。歴史の古い温泉街に建つ旅館建築として町並みの景観に趣を添える建物である。

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 旧加茂内科医院診療所兼主屋
きゅうかもないかいいんしんりょうじょけんしゅおく
- 3 所在地 山梨県南アルプス市小笠原255-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 大正4年頃
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

旧小笠原宿内の短冊状の敷地中央に東面して建つ。二階建の入母屋造妻入で切妻むくり起屋根の玄関を付ける。一階が診療所と居室、二階が座敷で診療所の受付や待合室、診察室にはガラス窓を多用して、採光等に配慮されている。大正期の地方診療施設の様相をよく留めている。



外観



内観（診療所受付）

- 1 種別 建造物
2 名称 旧加茂内科医院土蔵
3 所在地 山梨県南アルプス市小笠原255-1
4 所有者 個人
5 建築年代 大正4年頃／昭和20年頃移築
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
7 特徴等

敷地の奥に建つ。木造平屋建、切妻造棧瓦葺平入で、北面に戸口二箇所を開く。内部は、東室を土間、西室を板床とする。外壁はモルタル仕上で、鉄板張の板戸や鉄格子を入れた窓など防盜の配慮が窺える。



側面



外観

- 1 種 別 建造物
2 名 称 きゅうかまないかいじんおもてもんおよびへい
旧加茂内科医院表門及び塀
3 所在地 山梨県南アルプス市小笠原255-1
4 所有者 個人
5 建築年代 大正4年頃／昭和47年・平成12年移築
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
7 特徴等

街道に面した敷地東面を区切る。表門は間口2.4メートルの腕木門で、切妻造棧瓦葺である。塀は真壁造で漆喰塗の腰板張とし、屋根を棧瓦葺とする。落ち着いた着きのある表構えで、街道沿いの歴史的な景観を構成している。



外観



屋根

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 はぎはらけじゅうたくひがしてんぼけんしゅおく
萩原家住宅東店舗兼主屋
- 3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼字中町3150他
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 江戸末期／昭和45年改修
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

旧甲州街道勝沼宿にあり、通りに北面して建つ。木造二階建、切妻造の東西棟で、正面に下屋、背面に張出しを設ける。東に一間半幅の土間を通し、床上部は下手に四室、上手奥に座敷を配する。発展した平面形式をもち、繊細な格子で意匠を整えた大規模な町家である。



外観



内観 (土間から店をみる)

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 はぎはらけじゅうたくひがしのくら
萩原家住宅 東 蔵
- 3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼字中町3 1 5 0 他
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治中期
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

東店舗兼主屋の土間側に建ついわゆる蔵座敷である。土蔵造二階建、切妻造の南北棟で、南に渡廊下を介し便所や浴室を設ける。一階は一二畳半の座敷二室で、座敷飾を備える。通りに面した北妻面には、庇付の観音扉の窓を上下に開き、重厚な街路景観をかたちづくっている。



外観



内観（座敷）

- 1 種 別 建造物
2 名 称 はぎはらけじゅうたくにしてんぼ
萩原家住宅西店舗
3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼字中町3150他
4 所有者 個人
5 建築年代 江戸末期
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
7 特徴等

東店舗兼主屋の西側に並び建つ。木造二階建、切妻造の東西棟で、正面に下屋を通す。奥行は三間と狭く、一階を店とし、二階に座敷を設ける。正面の面格子、揚戸や大戸などの構えがよく残り、東店舗兼主屋とともに連続性のある旧宿場の景観を形成している。



外観（北面）



外観（北西）

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 はぎはらけじゅうたくにしざしき
萩原家住宅西座敷
- 3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼字中町3150他
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 江戸末期
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

西店舗の奥に接続する平屋建、切妻造の東西棟で、妻面を白漆喰で塗籠める。中央に土間を通して東に居室、西に座敷二室を配し、後方の西蔵との間にクジョウノマが突出する。それぞれ意匠の異なる造作で仕上げた座敷が近世商家の暮らしぶりを伝えている。



外観



内観 (座敷)
ザシキ

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 はぎはらけじゅうたくにしのから
萩原家住宅 西蔵
- 3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼字中町3 1 5 0 他
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治13年
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

敷地の南奥に建つ。土蔵造二階建、切妻造の南北棟で、東面と北面に戸口を開き、下屋を廻す。一階は十四畳一間で座敷飾を備え、庭に面した南面にも観音扉の窓を開く。東面下屋の北端には便所も備える。床柱に珍木を用いるなど、随所に趣向を凝らす蔵座敷である。



外観



内観（1階）

- 1 種 別 建造物
2 名 称 はらもわいんてんぽけんしゅおく
原茂ワイン店舗兼主屋
3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼小佐手小路3181-1
4 所有者 個人
5 建築年代 明治17年頃／平成12年改修
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
7 特徴等

旧勝沼宿北方の丘陵地の敷地中央に北面して建つ。木造二階建、切妻造の東西棟。前座敷と奥座敷が往時のまま残る。土間部は大黒柱や重厚な梁組をみせる。越屋根など養蚕民家の典型的な外観を保ちつつ、醸造業に転じた近代の大規模民家である。



外観



内観（土間部から座敷を見る）

- 1 種別 建造物
- 2 名称 原茂ワイン 東蔵・西蔵
はらもわいん ひがしのくら にしのくら
- 3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼小佐手小路3181-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 江戸末期
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

店舗の背面に北面して建つ。土蔵造二階建、切妻造棧瓦葺で、北面に下屋を設ける。外壁は白漆喰の腰黒漆喰仕上とし、正面戸口の楣部に意匠を凝らす。当地民家の伝統的な屋敷構えを構成している。



外観（東蔵）



外観（西蔵）



外観（東蔵2）

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 はらもわいんおくのくら
原茂ワイン奥蔵
- 3 所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼小佐手小路3181-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 昭和前期
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

もと文庫蔵で、主屋の前方西隅に建つ。土蔵造二階建、切妻造の南北棟で、東面に戸口を設ける。南面と東面に観音扉の窓を穿ち、窓庇には大振りの持送りを付ける。道路に面した敷地角にあつて、伝統的な屋敷構えとともに良好な街路景観をつくっている。



外観



内観（二階）

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 身延山久遠寺祖師堂及び御供所
みのぶさんくおんじそしどうおよびごくうしょ
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 明治14年／平成3年・同6年改修
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

本坊域の大本堂東に南面して建つ。いわゆる撞木造で、入母屋の大屋根をかける豪壮な外観や奥行き深い内部空間が特徴である。向拝に軒唐破風を付す。宗祖600年遠忌の再建で豪壮な外観や、精緻な彫刻で飾る内陣など総本山としての威容を示す建物である。



外観



内観

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 身延山久遠寺御真骨堂拝殿
みのぶさんくおんじごしんこつどうはいでん
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 明治14年／平成13年改修
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

本坊域中央の高台に南面して建つ。桁行三間梁間四間、入母屋造平入で、軒唐破風付の向拝を設ける。組物、扇垂木の深い軒など禅宗様を基調とし、細部彫刻も秀逸である。祖師堂と同じ600年遠忌の再建で、当時の意匠と造形が凝縮されている。



外観



内観

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 身延山久遠寺仏殿納牌堂
みのぶさんくおんじぶつでんのうはいどう
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 昭和6年／平成25年改修
- 6 登録基準 「(二) 造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

桁行七間梁間六間、向拝三間の仏殿が南面して建ち、東西に納牌堂が附属する。仏殿は側廻り二手先組物で、内部には建登せ(たてのぼせ)柱や虹梁を多用する。近代における諸機能の複合化を入母屋造の仏殿に宝形造の二重屋根の納牌堂が連続した独創的な外観でまとめている。



外観



内観

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺大客殿
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 明治19年／明治後期・昭和46年改修
6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
7 特徴等

仏殿納牌堂の東に西面して建つ。入母屋造平入の長大な客殿で、内部は二十畳の上段を含む畳敷の広間五室とする。正面中央に向唐破風の式台付大玄関を設け、東端に入母屋の小玄関を配する。雄大かつ豪壮な外観で総本山の接客機能に相応しい格式を備えている。



外観



内観

- 1 種 別 建造物
2 名 称 みのぶさんくおんじほうきどう
身延山久遠寺法喜堂
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 明治16年／昭和46年・平成23年改修
6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
7 特徴等

大客殿の南方に西面して建つ。桁行十間梁間九間、入母屋造妻入で、内部は正面側の土間部に大黒柱や梁に巨木を用い、重厚な軸組と架構をみせる。出入口両側に連続する花頭窓や妻飾の二重虹梁間に連続する大瓶束など、堂々たる構成の中に近代の意匠が窺える。



外観



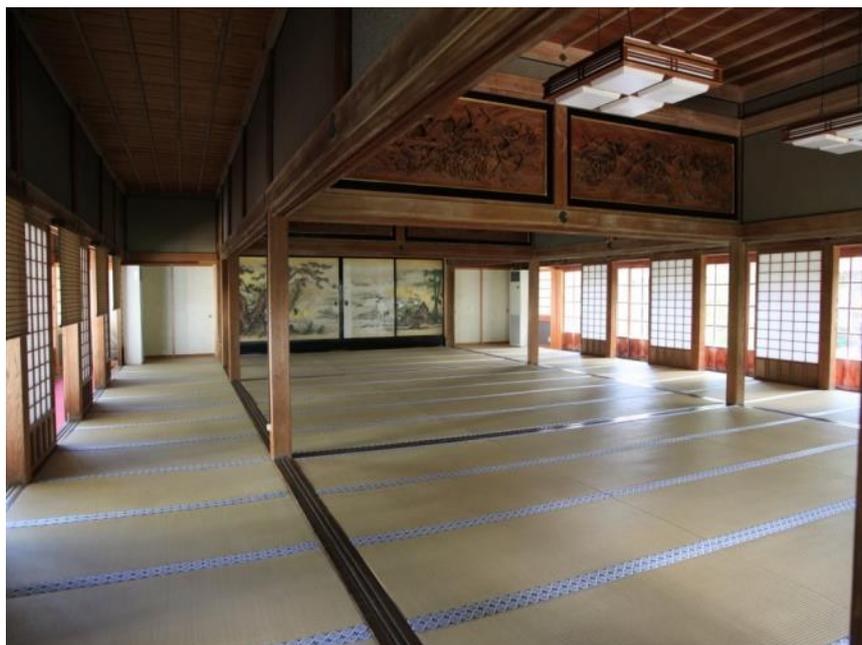
内観

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺旧書院
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 明治9年／平成23年改修
6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
7 特徴等

大客殿の東北方に建つ。東西棟の入母屋造本瓦葺で、正側面に下屋を付す。内部は上段の間と座敷三室を一行に配し、両側面に畳廊下と縁を通す。長押を二段廻して高くつくった天井、室境を飾る透彫の欄間彫刻など重厚な外観と対比的な内部意匠が特色である。



外観



内観

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺新書院
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 昭和6年
6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
7 特徴等

大客殿東側の人工地盤上に建つ。東西棟の入母屋造棧瓦葺、妻飾は木連格子、側廻りは舟肘木とする。内部は二十四畳間を三室並べ、四周に畳縁と縁を廻す。東室と西室には座敷飾を備え、各室とも格天井を高く張る。格式を備えた質の高いつくりの近代書院建築。



外観



内観（西室）

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺大鐘楼
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 明治15年／昭和14年改修
6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
7 特徴等

祖師堂の前方に建つ方三間の吹放ち形式の鐘楼。東西棟の入母屋造本瓦葺で、切石積基壇に太い円柱を立てて、貫で固めるが、中央間は内法虹梁大瓶束とする。組物は三手先詰組で、二軒繁垂木の深い軒を支えた重厚なつくりであり、丸彫や籠彫の彫刻で要所を飾る。



外観



組物

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺時鐘楼
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 昭和27年／平成25年改修
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
7 特徴等

方一間袴腰付の鐘楼で、屋根は南北棟の入母屋造棧瓦葺。擬宝珠高欄付の縁を三手先腰組で受け、組物間は一ニ支の彫刻で飾る。上層は粽付円柱を虹梁形頭貫ちまきつきで固め、台輪を廻らして出組の詰組とする。袴腰付で棟高が高く、本坊域入口の景観を整えている。



外観



組物

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺甘露門及び門番所
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
4 所有者 法人
5 建築年代 明治元年／昭和16年移築
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
7 特徴等

本坊城南面に建つ。甘露門は切妻造本瓦葺の高麗門で、左右に袖塀と潜りを付す。本柱上の大斗実肘木で直接棟木を受け、貫や腕木の先端を木鼻風につくる。門番所は入母屋造本瓦葺、門背面東側に接続する。規模も雄大で風格ある表構えをかたちづくっている。



外観（正面）



外観（裏面）

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 身延山久遠寺太子堂
みのぶさんくおんじたいしどう
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3567
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 大正元年
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
- 7 特徴等

三門の北西方に東面して建つ。方三間、宝形造棧瓦葺で、正面に切妻起屋根の向拝を付す。側廻りは三段積の布石上に腰石張とし、上部を漆喰塗で軒先まで塗籠める。内部は奥一間の内陣に仏壇を構え、外陣には格天井を張る。太子信仰の様相を伝える堂である。



外観



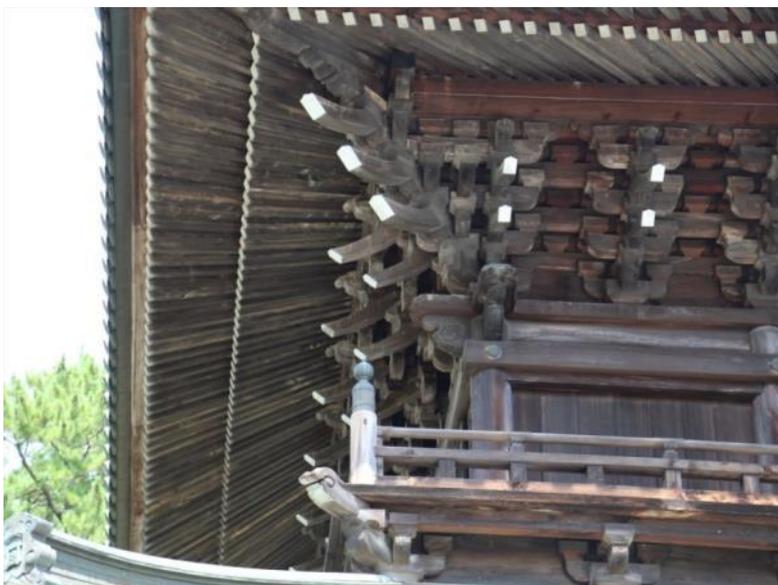
内観

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 身延山久遠寺三門
みのぶさんくおんじさんもん
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3567
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 明治40年
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

本坊域への参道口に南面して建つ。本瓦形銅板葺、五間三戸の二階二重門。下層は木鼻付三手先詰組、二軒繁垂木、上層は尾垂木付三手先詰組、二軒扇垂木で左右の山廊の正面には花頭窓を設ける。規模雄大かつ精緻なつくりで、近代における禅宗様二重門の好例である。



外観



組物

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 種別 | 建造物 |
| 2 | 名称 | 身延山久遠寺本地堂
<small>みのぶさんくおんじほんじどう</small> |
| 3 | 所在地 | 山梨県南巨摩郡身延町身延3567 |
| 4 | 所有者 | 法人 |
| 5 | 建築年代 | 嘉永5年(1852) / 平成24年改修 |
| 6 | 登録基準 | 「(二)造形の規範となっているもの」 |
| 7 | 特徴等 | |

本坊域背後に南面して建つ。方形の楼造で、正面中央に^{しとみど}蔀戸、側面中央に引違格子戸を入れる。三手先で擬宝珠高欄付の縁を受け、上層は尾垂木付三手先と二軒繁垂木で深い軒をつくる。宝形造の屋根は頂部に宝珠を載せる。均整の取れた外観で細部も充実している。



外観



軒下部

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺祖廟塔
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3628
4 所有者 法人
5 建築年代 昭和17年
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
7 特徴等

日蓮聖人が隠棲した草庵跡地である西谷にある。鉄筋コンクリート造、八角形平面で、乱石積基壇の周囲を石柵で囲い、内部に五輪塔を安置する。上すぼまりの塔身は大理石張とし、笠石は軒先上部に反りがつき頂部に相輪を戴せる。高さ12メートルの壮大な廟塔。



外観 1



外観 2

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 みのぶさんくおんじじょうしょうでん
身延山久遠寺常唱殿
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3630
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 昭和33年
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

西谷の入口に南面して建つ。入母屋造檜皮葺で、正面に向唐破風の式台玄関を設け、北西に上段の間を接続する。四十五畳の広間は祖廟塔に正対する西面を全面ガラス窓とし、折上格天井を張る。復古調の墓股や舟肘木を用いるなど洗練された意匠の瀟洒な和風建築である。



外観



内観（折上格天井）

- 1 種別 建造物
- 2 名称 身延山久遠寺三昧堂
みのぶさんくおんじさんまいどう
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3620
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 文政5年(1823) / 昭和16年移築
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

西谷の高台に南面して建つ。桁行四間梁間三間。入母屋造妻入、正面に向唐破風の向拝を設ける。後方の奥行三間は増築。側廻りは尾垂木付三手先組物の詰組、向拝廻りを緻密な彫刻で充溢し、内部を二重折上格天井とするなど江戸後期の充実したつくりをみせる。



外観（正面）



外観（側面）



内観（二重折上格天井）

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺水行堂
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3620
4 所有者 法人
5 建築年代 昭和27年
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
7 特徴等

苦修練行の一つである水行の場で三昧堂の南西方にある。桁行5.7メートル、梁間4メートル、東西棟の切妻造、檜瓦葺、吹放ち形式で、水盤を据える。全体的に丁寧なつくりである。



外観



内部水行場



軒下

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺瑞門
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延 3 6 2 0
4 所有者 法人
5 建築年代 昭和 2 8 年
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
7 特徴等

三昧堂の南東方を区切る一間一戸薬医門。切妻造棧瓦葺で、袖塀を左右に延ばす。三昧堂の表構えを重厚に固めるつくりである。



外観（正面）



外観（裏側側面）

- 1 種 別 建造物
2 名 称 身延山久遠寺思親閣仁王門
3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延 4 2 2 2
4 所有者 法人
5 建築年代 昭和10年
6 登録基準 「(一) 国土の歴史的背景に寄与しているもの」
7 特徴等

奥之院にある三間一戸八脚門。切妻造瓦棒銅板葺、両端部の前方は土間、後方は板床に壇を設けて仁王像を安置する。軸部は内法虹梁・頭貫で固める。軒廻りは出組に中備墓股と支輪を付け、妻飾は二重虹梁である。充実した意匠で格調ある表構えをかたちづくる。



外観（正面）



右側面



軒下

- 1 種別 建造物
- 2 名称 だいちかん
大市館
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町下部48
- 4 所有者 法人
- 5 建築年代 昭和8年頃
- 6 登録基準 「(一)国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

下部温泉の中心部に東面して建つ旅館。木造三階建、入母屋造棧瓦葺で、正面北端に入母屋の玄関を設ける。一階に食堂、二、三階に大小十二の客室を配し窓には刎高欄の手摺を付ける。下部川にかかる神泉橋のたもとにあつて温泉街の景観に趣を添えている。



外観



内観